

〔共同研究：書誌的研究法の考察と展開〕

大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究

(その7) —荷風の読書遍歴書誌 7—

志 保 田 務*
赤 瀬 雅 子**

今回は荷風最晩年の読書書誌をみることになった。

終戦。解放の喜びに浸ったこの時代には、戦中、絶対に軍に協力せず発表のあてもない作品をかきつけていた荷風の姿が知識人の理想像ともみなされるに至った。荷風は文壇・ジャーナリズムでもてはやされ、社会的には生涯の頂点をきわめたかとも見えるほど華やかであった。文化勲章も受賞した。しかし得意の絶頂にあっても、もはや新しい世界を切り開く才能は再燃しなかった。そのことを読書書誌がもの語っている。

読書的には、生涯の決算期にふさわしく、若い時から読み続けた作品に接している。

このことから見ると、世間でもてぶりと裏腹に、彼の心の中は若いときの自作「問はずかたり」の主人公が夢想したようにプロヴァンスに隠棲するということを望んでいたといえる。しかし敗戦後の日本は余りにも貧しく、それはかなえられない望みであった。行くことが不可能なゆえに、却って脳裏はその地を追い無可有郷と化したフランスへの愛をうたった書物をひもとく。そして鷗外の書物を読む。

荷風は昭和34年、80才で凄絶な孤独の死を遂げる。その死期においても現役の流行作家であった。しかし彼はストーリーテラーとなることを極力避けた。また、鷗外に学びながら鷗外に非ず、荷風そのものの文学を打ち立てた。彼の文学は、豊かな読書を糧としながらそれらとははっきり異なる極めて孤高の文学であるといえよう。

凡 例

(詳細は本誌 Vol.12 No.3 所載)

I 拠点

『荷風全集』第1巻(1962年)～第28巻(1965年)、補巻・第29巻(1974年)岩波書店。

II 記載事項

1. 読書関係事項

- .1 年月日：原則としてその対象作品名をなっている荷風の著作の初出の年月日。ただし脱稿の日付がふされそれが発表の日付よりも2年以上先立つものである場合は、脱稿の年月日を記載した。なお脱稿と発表の年月日に相当の間隔がある場合は、それぞれ注で脱稿または発表の日付を補った
- .2 読書作品：荷風による記載の形に従って著者：作品名の順に示す。

2. 典拠関係事項

- .1 巻・頁：当該読書作品を所載する上記『荷風全集』の巻次，頁。
- .2 読書作品を所載する荷風の著作のタイトル。岩波による編集タイトルの場合を含む。

3. 注：注は稿末にまとめた。荷風の文中からの抽出文には「 ” 」(引用符)で囲んだ。

* 本学社会学部教授

** 本学経済学部教授

荷風の読書遍歴書誌(7)

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻:頁	荷風全集目次タイトル
S.21. 3.11	「寛政重修諸家譜」	24:127	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 3.11	菊地三溪「譚準綺語」	24:127	〃
S.21. 3.20	「言泉」	24:129	〃
S.21. 3.11	坪内逍遥「小説神髓」	24:127	〃
S.21. 3.29	「よしあし艸」	25:417	書簡集
S.21. 4.30	「我観」 ¹⁾	24:137	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 4. 2	菅茶山「茶山落葉黄村舎詩集」	25:417	書簡集
S.21. 4. 4	菅茶山「黄葉夕陽村舎詩」	24:131	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 4.25	「新生」 ²⁾	24:136	〃
S.21. 4.23	永井久一郎「西遊詩」	24:136	〃
S.21. 4. 5	永井久一郎「青閣集」	24:132	〃
S.21. 4.23	成島柳北「柳橋新誌」	24:136	〃
S.21. 4.25	成島柳北「柳橋新誌」	25:421	書簡集
S.21. 4.29	「武江年表」	24:137	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 4.22	「平安堂細筆」	25:420	書簡集
S.21. 4.23	森鷗外「審美綱領」	24:136	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 4.25	森鷗外「審美綱領」	25:421	書簡集
S.21. 4. 4	ボードレール「ボードレール英訳本」 ³⁾	24:131	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 5.15	幸田露伴「瀾言長語」	24:140	〃
⁴⁾ S.21. 7.不	「大岡政談」	17:235	飾葛土産其他:假寝の夢
S.21. 7.不	「四書」 ⁵⁾	17:237	〃 : 〃
⁴⁾ S.21. 7.不	「新訳聖書」 ⁶⁾	17:237	〃 : 〃
⁴⁾ S.21. 7.不	アーノルド「海と陸」	17:241	〃 : 〃
⁴⁾ S.21. 7.不	ロチ, ピエール「日光紀行」	17:233	〃 : 〃
S.21. 8.不	大田南畝 ⁷⁾	26:526	序跋其他:日誌につきて
S.21. 8.不	成島柳北「西航日乗」 ⁸⁾	26:526	〃 : 〃
S.21. 8.不	樋口一葉 ⁹⁾	26:526	〃 : 〃
S.21. 8.不	細井平洲 ¹⁰⁾	26:526-7	〃 : 〃
S.21. 8.不	安井息軒「北潜日鈔」 ¹¹⁾	26:526	〃 : 〃
S.21. 8.不	ブロワ, レオン「寒土の門」 ¹²⁾	26:527	〃 : 〃
S.21. 8.不	ロチ, ピエール ¹³⁾	26:527	〃 : 〃
S.21. 9.22	大沼枕山 ¹⁴⁾	25:423	書簡集
S.21. 9.22	大沼枕山「枕山絶句鈔」	24:154	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 9.22	菊池三溪「梅暦漢訳」	25:423	書簡集
S.21. 9.22	服部愿卿「鐘情集」	24:154	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 9.22	森春濤 ¹⁴⁾	25:423	書簡集
S.21. 9.22	森春濤「春濤詩鈔」	24:154	断腸亭日乗卷第三十
S.21. 9.22	鷺津毅堂	25:423	書簡集

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 21. 9. 不	ヴェルレーヌ ¹⁵⁾	17：182	冬の蠅：蟲の聲
S. 21. 9. 不	ボードレー	17：182	〃：〃
S. 21. 10. 22	谷崎潤一郎「細雪」	29：88	拾遺：書簡
S. 21. 10. 12	永井久一郎「来青閣集」	24：156	断腸亭日乗卷第三十
S. 21. 10. 21	梁田蛻巖「詩集前編」	20：170	断腸亭日記卷十一
S. 21. 10. 20	テニソン「エノック、アーデン」	25：426	書簡集
S. 21. 11. 10	大田南畝「南畝帖」 ¹⁶⁾	24：159	断腸亭日乗卷第三十
S. 21. 11. 10	〃 「〃」	25：428	書簡集
S. 21. 11. 4, 23	木村茶舟「菊牕偶筆」「黄梁一夢」	24：159, 162	断腸亭日乗卷第三十
S. 21. 11. 13	バルビュツス「露西亜観察記」	24：161	〃
S. 21. 11. 1	モンパッサン「Le Retor」	29：88	拾遺：書簡
S. 21. 11. 8	レオナルド、フランツ「カルムとアンナ」 ¹⁷⁾	24：159	断腸亭日乗卷第三十
S. 21. 11. 16	Englis, Paul「Histoire de l'Erotisme en Europe, Adaptation française par Jacques Gorvil」	24：161	〃
S. 21. 12. 30	昇曙夢譯「クープリンの魔窟」	24：166	〃
S. 21. 12. 29	バルザック「従妹ベット」	24：166	〃
S. 21. 12. 15	Eastman, Max「Depuis la mort de Lénie」	24：164	〃
S. 21. 12. 15	Sarolea, Charles「Ce que j'ai vu en Russie Soviétique」	24：164	〃
S. 21?/22? 不	中根香亭「香亭雑談」	29：422	続参考篇：手帖釋文
S. 22. 1. 7	幸田露伴「曠野評釋」	24：168	断腸亭日乗第三十一卷
S. 22. 1. 26, 28	中島嘉右衛門「日新録」 ¹⁸⁾	24：175, 176	〃
S. 22. 1. 30	森銑三「三春行楽記の評釋」	25：431	書簡集
S. 22. 1. 22	モーパッサン「モーパッサン短篇集 Misti 一卷」	24：174	断腸亭日乗第三十一
S. 22. 2. 15	久保栄「小山内薫」	24：179	〃
S. 22. 2. 1	「 <small>コンフェランツァ</small> 仏蘭西名家講義録」 ¹⁹⁾	24：177	〃
S. 22. 4. 30	「随園詩話」	24：189	〃
S. 22. 5. 1	大田南畝「杏園閒筆」四卷 ²⁰⁾	24：190	〃
S. 22. 5. 10	呉秀三譯「シーボルト江戸紀行」	24：192	〃
S. 22. 5. 27	松の家「相馬日記」	24：196	〃
S. 22. 5. 30	ラマルチン	24：196	〃
S. 22. 6. 10	岩谷裳川	24：198	〃
S. 22. 6. 30	幸田露伴「調言長語」	24：201	〃
S. 22. 6. 1	「怨軒遺稿」	24：196	〃
S. 22. 6. 30	太宰春臺「繼橋記」	24：201	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S.22. 6. 8	依田学海「談叢」	24：198	断腸亭日乗第三十一
S.22. 7. 6	猪場毅「真間」 ²¹⁾	24：203	〃
S.22. 7.11	岩溪裳川「裳川自選稿」	24：203～4	〃
S.22. 7.17	岡不崩「梅花志稿」	25：433	書簡集
S.22. 7.22	幸田露伴「論語」	24：205	断腸亭日乗第三十一
S.22. 8. 4	岩溪裳川「裳川先生自選稿」	25：435	書簡集
S.22. 8. 7	川路聖謨	24：206	断腸亭日乗第三十一
S.22. 8.16	菊池三溪「晴雪楼詩鈔」慶応丁卯	24：208	〃
S.22. 8. 8	谷崎潤一郎「細雪」中巻	24：206	〃
S.22. 8.27	ユイスマン「マルト」	24：209	〃
S.22. 9.16	長壽吉「東西南北人」	24：211	〃
S.22. 9.26	「富山房漢和辞典」	25：442	書簡集
S.22. 9. 8	「リトレー仏語辞典」	24：210～1	断腸亭日乗第三十一
S.22.10.27	大田南畝「尺牘帖」	24：218	〃
S.22.10.不	国木田独歩「武蔵野」	17：270	飾葛土産：飾葛土産
S.22.10. 5	中村光夫「作家と作品」	24：214	断腸亭日乗第三十一
S.22.10.不	与謝野晶子 ²²⁾	17：270	飾葛土産：飾葛土産
S.22.11.不	谷崎潤一郎「細雪」 ²³⁾	17：281～4	〃：細雪妾評
S.22.11.不	田山花袋「蒲団」 ²⁴⁾	17：282	〃：〃
S.22.11.29	林達夫「文芸復興」「ハリスの日記」	24：323	断腸亭日乗第三十一
S.22.11.不	二葉亭四迷 ²⁵⁾	17：282	飾葛土産：細雪妾評
S.22.11.22	仏蘭西版春本数巻。1. Un été à la Campagne. (A Mitylène chez les Libraire Associés) 2. Gamiani ou Deux nuits d'excès, par Alcide, Baron de U ^{xxx} . (A Paris au Clos Bruneau, Baron de U ^{xxx} . (A Paris au clos Bruneau, à l'Enseigne de la Galant ou les d'élassesments du Boudoir. 4. Les Amis du Crime par le Marquis de Sade ²⁶⁾ .	24：221～2	断腸亭日乗第三十一
S.22.11.不	森鷗外「蘭軒伝」 ²⁷⁾	17：283	飾葛土産：細雪妾評
S.22.11.不	ダヌンチノ ²⁸⁾	17：283	〃：〃
S.22.11.不	ヌエー、ノエル「宮城環景」 ²⁹⁾	17：285	〃：宮城環景を観る
S.22.11.不	フローベル「ボワライ夫人」「感情教育」 ³⁰⁾	17：282	〃：細雪妾評
³¹⁾ S.22.12.不	野崎左文「地理書」	17：273	〃：飾葛土産
³¹⁾ S.23. 1.不	堀口大学「水蠟樹の花香」	17：287	〃：宮城環景を観る
³¹⁾ S.23. 1.不	サマン	17：287	〃：〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
31) S.23. 1.不	ジャム	17：287	飾葛土産：宮城環景を観る
S.23. 1.26	ヌエー「東京風景」「宮城環景」	25：452,450	書簡集
S.23. 1.26	ヌエット「宮城環景」	24：236	断腸亭日乗第三十二巻
S.23. 2. 9	佐藤春夫 ³²⁾	24：239	〃
S.23. 2. 9	吉田精一 ³²⁾	24：239	〃
S.23. 2.25	ゾラ「抒情詩篇」(Poèmes Lyriques)	24：242	〃
S.23. 2. 6	ゾラ「ラテール」	24：238	〃
S.23. 3. 4	佐村八郎「国書解題」	24：243	〃
S.23. 3. 4	「日本人名辞書」	24：243	〃
S.23. 3.29	ゾラ「百貨店」	24：244	〃
S.23. 4.20	巖谷小波「小波先生日記」	24：249	〃
S.23. 4.16	巖谷小波先生の日誌及旧稿若干冊 ³³⁾	24：247～8	〃
S.23. 4.26	「御先考遺草日誌」	25：456	書簡集
S.23. 4. 8	ゾラ「ゼルミナル」	24：246	断腸亭日乗第三十二巻
S.23. 4.22	Servan, N「ピエールロチ伝」	24：249	〃
S.23. 4.29	Zola「La Joie de Vivre」	24：249	〃
S.23. 5. 3	「ひとりごと」	25：457	書簡集
S.23. 6.10	「春本四疊半」	24：254	断腸亭日乗第三十二巻
S.23. 6. 1	Zévaès, Alexandre「L’Affaire Dreyfus」	24：253	〃
S.23. 8.不	尾崎紅葉「金色夜叉」	26：386	上海紀行：東京風俗ばなし
S.23. 8.18	「小説世界」	24：261	断腸亭日乗第三十二巻
S.23. 8.不	「新撰東京名所図会」 ³⁴⁾	26：375	上海紀行：東京風俗ばなし
S.23. 8.不	為永春水「春告鳥」	26：382	〃：〃
S.23. 8.不	「洞房語園」 ³⁵⁾	26：384	〃：〃
S.23. 8.不	成島柳北「航薇日誌」	26：388	〃：〃
S.23. 8.不	平出鏗二郎「東京風俗史」	26：375	〃：〃
S.23. 8.不	「風俗画報」の浅草の部	26：384	〃：〃
S.23. 8.不	へボン「英和辞典」	26：387～8	〃：〃
S.23. 8.不	牧逸馬(林不忘)「丹下左膳」	26：376	〃：〃
S.23. 8. 7	鷺津毅堂「毅堂集零本」	24：260	断腸亭日乗第三十二巻
S.23. 8.不	サトウ「辞書」	26：388	上海紀行：東京風俗ばなし
S.23. 8.23	ゾラ「Nos Auteurs Dramatiques」	24：261	断腸亭日乗第三十二巻
S.23. 8.不	「Nightless City(不夜城)」 ³⁶⁾	26：384	上海紀行：東京風俗ばなし
S.23. 9.不	花柳章太郎「きもの簪」 ³⁷⁾	26：498	序跋其他：花柳章太郎著…
S.23. 9.13	花柳章太郎「続きもの」	24：262	断腸亭日乗第三十二巻
S.23.11.11	リルケ	28：67	対談・鼎談・座談：好日鼎談
S.24. 1. 4	葛元煦「滬游雑記」 ³⁸⁾	24：277	断腸亭日乗第卅三巻
S.24. 2. 6	「掃葉山房板 疑雨集」	24：280	〃
S.24. 3.14	巖谷小波「小波先生日記」	24：283	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S.24. 4.19	李息齋「竹譜詳録」	24：287	断腸亭日乗第卅三卷
S.24. 5.不	「実話新聞」	17：289	飾葛土産：裸体談義
S.24. 6.28	「花月新誌」	24：295	断腸亭日乗第卅三卷
S.24. 6. 9	服部誠一「東京新誌」	24：293	〃
S.24. 8.17	「世界人」 ³⁹⁾	24：304	〃
S.24. 8.17	森於菟「一夜」「攀遅の夢」 ³⁹⁾	24：304	〃
S.24. 9.不	森鷗外「阿部一族」「伊沢蘭軒」「大塩平八郎」「興津弥五右衛門の遺書」「雁」「栗山大膳」「細木香似」「渋江抽斎」「梶原品」「鈴木藤吉郎」「寿阿弥の手紙」	15：248～255	鷗外先生：東京堂版鷗外選集第八卷解説
S.24.10.17	大田南畝「蜀山人麗澤唱和写本」	24：312	断腸亭日乗第卅三卷
S.24.10.26	岡鹿之助「フランスの画家たち」	24：313	〃
S.24.10. 1	幸田露伴「蝸牛庵日記」	24：309	〃
S.24.10.23	柳河春三「春芸酒滴」其他	24：312	〃
S.24.10. 6	スタンダル「Le Rouge et le Noir」	24：310	〃
S.24.10.25	モーパッサン「ベルアミイ」	24：313	〃
S.24.11.不	巖谷小波「金色夜叉の真相」	17：300	飾葛土産：出版屋惣まくり
S.24.11.不	〔尾崎〕紅葉先生の著作 ⁴⁰⁾	17：300	〃：〃
S.24.11.不	高山樗牛の全集 ⁴⁰⁾	17：300	〃：〃
S.24.11.不	「三田文学」 ⁴¹⁾	17：302	〃：〃
S.24.11.13	「拉典文学史」	24：315	断腸亭日乗第卅三卷
S.24.12.21	中根香亭「香亭雅談」下	24：318	〃
S.24.12.16	林鶴梁の日誌	24：317	〃
S.24.12.11	ミルポー「小間使日記」	24：317	〃
S.25. 1.25	林鶴梁の日誌	24：323	断腸亭日乗第卅四卷
S.25. 1. 8	バルビュス「地獄」	24：322	〃
S.25. 1.21	Roya, Maurice「André Maurois」	24：323	〃
S.25. 3.不	「小説世界」 ⁴²⁾	17：311	飾葛土産：放談
S.25. 3.不	モーパッサン ⁴³⁾	17：309	〃：〃
S.25. 3.不	ロッチ, ピエール ⁴³⁾	17：309	〃：〃
S.25. 4.13	「小説世界」 ⁴⁴⁾	24：329	断腸亭日乗第卅四卷
S.25. 4.13	為永春水「梅暦」 ⁴⁴⁾	24：329	〃
S.25. 4. 4	Duruy, Victor「Histoire de France (仏蘭西国史)」	24：328	〃
S.26. 4.20	Nouët, Noël「En écoutant le veilleur de nuit」	24：330	〃
S.25. 5.16	為永春水「梅暦」	24：332	〃
S.25. 5. 4	初山梓月子	24：331	〃
S.25. 5.25	「Oublieuse Mémoire par Jules	24：333	〃

(昭和)	読書作品 (著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
	Supervielle] ⁴⁵⁾		
S. 25. 6. 11	スタエル夫人「仏蘭西革命史論」	24：335	断腸亭日乗第卅四卷
S. 25. 7. 16	ブルジェー「社交舞踏家 (Le Danceur Mondain)」	24：337	〃
S. 25. 7. 25	モーパッサン「亜非利加紀行日の国」	24：338	〃
S. 25. 7. 12	Vaudoyer, J. L. 「Nouvelle Beauté de Provence (プロヴァンス州勝景志)」	24：337	〃
S. 25. 8. 29	Dabit, Eugène 「L'Hôtel du Nord (北ホテル)」	24：341	〃
S. 25. 9. 10	幸田露伴「露伴全集 猿蓑評釋」	24：342	〃
S. 25. 9. 24	中根香亭「香亭雑談」	24：343	〃
S. 25. 10. 8	ヌエット「巴里」	24：344	〃
S. 25. 10. 24	フロベール「サランポー」	24：345	〃
S. 25. 10. 12	「Où le coeur se partage」	24：344	〃
S. 25. 12. 不	ヌエット, ノエル	28：568	補遺：ノエル, ヌエット個展推薦文
S. 25. 12. 5	Carco 「L'Amour Vénal」	24：347	断腸亭日乗第卅四卷
S. 26. 2. 15	Kessel, J 「Nuits de Princes」	24：354	〃 第卅五卷
S. 26. 2. 17	Maurras Charles 「La Musique Intérieure」 (詩集)	24：355	〃
S. 26. 4. 24	ヌエット ⁴⁶⁾	25：480	書簡集
S. 26. 4. 27	ヌエット「眠れる蝶」 (Nouët: Papillons endormis) ⁴⁷⁾	24：358	断腸亭日乗第卅五卷
S. 26. 4. 9	Sainte Beuve 「Volupté」 (サントブウブの小説歓楽)	24：357	〃
S. 26. 5. 30	ラルー, ルネー「現代仏蘭西文学史」 (René Lalou: Histoire de la Littérature Française Contemporaine)	24：361	〃
S. 26. 6. 2	幸田露伴「露伴全集紀行文」	24：362	〃
S. 26. 6. 4	森鷗外「小倉日記」	24：361	〃
S. 26. 6. 2	グルモン「色彩」 (短篇集)	24：361	〃
S. 26. 6. 27	モラン「黒き魔術」 (Paul Morand: Magie Noire)	24：362	〃
S. 26. 7. 6	Loti, Pierre 「Les Désenchantées」	24：363	〃
S. 26. 8. 20	「フィガロリテール」	25：481	書簡集
S. 26. 8. 18	「Figaro littéraire」	24：366	断腸亭日乗第卅五卷
S. 26. 9. 16	Renard, Jules 「Poil de Carotte」 (赤毛の児)	24：368	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S.26.11.18	Supervielle, Jules 「Le Survivant」	24：372	断腸亭日乗第卅五卷
S.26.12.26	西村天囚「日本宋学史朝日文庫」	24：374	〃
S.27.3.18	赤松宗旦「利根川圖志」	24：380	断腸亭日乗第卅六卷
S.27.3.31	幸田露伴「露伴書簡」	24：381	〃
S.27.3.27	根岸門蔵「利根川治水考」 ⁴⁸⁾	24：381	〃
S.27.3.11	「仏蘭西語春本」(「Les Véritables Chansons de Bitilis. Traduites du grec d'après le manuscrit de la Justinienne.」)	24：380	〃
S.27.5.20	「仏蘭西現代名家文鈔」(「Anthologie de la Nouvelle Prose Française, Kra」)	24：385	〃
S.27.5.11	ジャル, エドモン「海の深さ」(Edmond Jaloux: Les Profondeurs de la Mer)	24：384	〃
S.27.5.29	ルイ, ピエール「女と木偶」(Pierre Louis: La Femme et le Pantin.)	24：385	〃
S.27.6.20	Philippe, Charles-Louis「Chro」	24：362	〃
S.27.7.12	ジードの雑筆集(Inocidences)	24：388	〃
S.27.9.22	Cocteau「Le Grand Ecrat」	24：393	〃
S.27.10.8	アルラン, マルセル「秩序」(Marcel Arland: Ordre)	24：394	〃
S.27.10.12	ルーヴェールのダルモンとデートの評論 (André Rouveyre: Reclus et le Retors.)	24：394	〃
S.27.12.11	マロ, エクトル「家無き児」(Hector Marot: Sans Famille.)	24：401	〃
S.28.1.17	Aragon「Les Cloches de Bâles」	24：406	断腸亭日乗第卅七卷
S.28.3.13	アラゴン「馬車屋上の客」	24：410	〃
S.28.3.不	ジイド, アンドレ「田園交響曲」	17：322	飾葛土産：漫談
S.28.3.不	スタンダル「パルムの僧院」	17：322	〃：〃
S.28.3.不	ゾラ「獣人」	17：322	〃：〃
S.28.3.不	トルストイ「アンナカレニナ」	17：322	〃：〃
S.28.5.5	元の木網自筆本「狂歌画賛集」	24：414	断腸亭日乗第卅七卷
S.28.6.不	邦枝完二「邦枝完二全集」	26：499	序跋其他：思想才芸まさに円熟
S.28.10.26	ビュッシュェ, エドモン「二十世紀知的作家評論」(Edmont Buchet: Ec-rivants intelligents du XX ^e siècle)	24：431	断腸亭日乗第卅七卷
S.28.10.26	Rousseux, André「Littérature du	24：431	〃

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
	vingtième siècle]		
S.28.11.不	ジイド「田園交響楽」 ⁴⁹⁾	17：327	飾葛土産：雑話
S.28.11.不	シェンキイチ「クオヴァヂス」 ⁴⁹⁾	17：327	〃：〃
S.28.11.不	ゾラ「獣人」 ⁴⁹⁾	17：327	〃：〃
S.28.11.不	ヂッケンス「オリバートイスト」 ⁴⁹⁾	17：327	〃：〃
S.28.11.不	トルストイ「アンナカレニナ」 ⁴⁹⁾	17：327	〃：〃
S.28.11.不	フローベル「ボバリー夫人」 ⁴⁹⁾	17：327	〃：〃
S.28.12.23	Marot, Hector「En Famille」	24：435	断腸亭日乗第卅七卷
S.29. 1.26	中根香亭「香亭葺草」	24：438	断腸亭日乗第卅八卷
S.29. 1.21	ジイド, アンドレ「Si le grain ne meurt」 ⁵⁰⁾	24：439	〃
S.29. 1. 6	Jaloux, Edmond「Les Saisons Littéraires」	24：437	〃
S.29. 3.17	鷺津毅堂「薄遊吟草」	24：443	〃
S.29. 4.17	ヌエツト, ノエル「東京シルエット」 ⁵¹⁾	24：446	〃
S.29. 7. 4	山本北山「咲堂福聚」 ⁵²⁾	24：452	〃
S.29. 9. 3	「魯文珍報綴込」	24：457	〃
S.29.10.25	フローベル「サランポー」	24：461	〃
S.29.12.12	為永春水「梅暦」(木版本及活字本)	24：464	〃
S.29.12. 7	「武江年表」	24：464	〃
S.29.12.13	靱山梓月子(句集)「冬扇」	24：464	〃
S.29.12.14	靱山梓月子「冬扇」	25：489	書簡集
S.30. 1.10	バレス「ローレンの岡」(Maurice Barrès: La Colline Inspirée)	24：468	断腸亭日乗卷卅九
S.30. 1.28	モルモノ「ウェルレーン評伝」(Pierre Martino: Verlaine)	24：469 24：476	〃 〃
S.30. 4.29	鵬齋「善身堂詩鈔」	24：476	〃
S.30. 4.15	森於菟「父親としての森鷗外」	25：491	書簡集
S.30. 4.10	森銑三「西鶴と西鶴本」	24：474	断腸亭日乗卷卅九
S.30. 4.25	ユーゴー「散文抜萃集」	24：475	〃
S.30. 8.不	ゾラ「居酒屋」「夢」「ナナ」	28：188, 189	対談・鼎談・座談：映画『女優ナナ』を語る
S.30.10.19	靱山梓月子(句集)「続冬扇」	24：488	断腸亭日乗卷卅九
S.30.11.不	戸田茂睡“切風の夕越行くや待乳山”	17：330	飾葛土産：水のながれ
S.31. 2.20	安井息軒「紀行読書餘適」「詩集睡餘漫稿」	24：499	断腸亭日乗卷第四十
S.31. 3. 8	ジイト, アンドレエ「Nourritures」	24：500	〃
S.31. 4.13	小金井喜美子「鷗外の思出」	24：503	〃
S.31. 4.25	(雑誌)「みどり」	25：493	書簡集
S.31.10.13	村松嘉津「巴里文学散歩」 ⁵³⁾	24：515	断腸亭日乗卷第四十

(昭和)	読書作品(著者・著作名)	巻：頁	荷風全集目次タイトル
S. 31. 11. 27	秋庭太郎「日本演劇史」	25：495	書簡集
S. 31. 11. 24	ヌエット「色風景画用箋」	25：495	〃
S. 31. 12. 16	川尻清潭「歌舞伎俳句帖」 ⁵⁴⁾	24：520	断腸亭日乗卷第四十
S. 31. 12. 12	(新聞)「フランス, ソワール」	25：495	書簡集
S. 32. 不. 不	エリセーフ ⁵⁵⁾	27：140	雑草園其四：この頃の私
S. 32. 1. 不	「萬葉集」	27：141	〃 : 〃
S. 32. 3. 30	成嶋柳北「柳北遺稿」	24：532	断腸亭日乗卷第四十一
S. 32. 3. 22	キーン訳「すみだ川」(Modern Japanese Literature an anthology compiled and edited by Donald Keene) ⁵⁶⁾	24：531	〃
S. 32. 4. 7	「南部先生詩集」	24：532	〃
S. 32. 5. 5	カルコ, フランシス「諷刺画家伝」 (Carco: Les Humoristes)	24：534	〃
S. 32. 7. 9	林述齋の詩文其他	25：496	書簡集
S. 32. 8. 3	〔太田〕南畝「南畝絶句」	25：497	〃
S. 32. 8. 2	曲亭翁「戊子日記」	25：496	〃
S. 32. 8. 3	「林子瀧上漁謡」	25：497	〃
S. 32. 9. 23	森鷗外「鷗外日記」「小倉日記」 「独逸日記」 ⁵⁷⁾	24：544	断腸亭日乗卷第四十一
S. 32. 9. 23	森於菟「父親としての森鷗外」「森鷗外」	24：544	〃
S. 32. 11. 25	清宮秀堅「下総国旧事考」八冊	24：548	〃
S. 32. 11. 25	「地図」一冊	24：548	〃
S. 32. 12. 24	森鷗外「即興詩人」	24：550	〃
S. 33. 4. 7	幸田露伴「露伴全集」	24：559	断腸亭日乗卷第四十二
S. 33. 9. 22	〃 「 〃 」	24：570	〃
⁵⁸⁾ S. 34. 6. 不	森鷗外「伊沢蘭軒」「渋江抽斎」「玉篋」 ⁵⁹⁾ 「奈良」五十首「古い手帳」 「北条霞亭」「両浦島」	15：256～258	鷗外先生：鷗外記念館のこと
年次未詳1. 31	「活文壇」	25：509	書簡集

注

- 1) “雑誌”
- 2) “雑誌”
- 3) ポーの優れた翻訳者であったボードレールの英訳には、荷風も格別の興味を抱いたに相違ない。
- 4) “昭和21年4月稿”
- 5) “仏訳本”
- 6) “和仏両方”
- 7) “大田南畝が紀行及び日誌体の雑記”

- 8) “花月新誌に連載せられし…”
- 9) “一葉女史が日誌”
- 10) “細井平洲の紀行”
- 11) “安井息軒が戊辰の年避難せし時の日誌”
- 12) “歐洲大戦中筆にせし日記”
- 13) “ピエール、ロチが日誌”
- 14) “枕山春壽二老の詩集”
- 15) “秋のキヨロンのすゝり泣する調”
- 16) “此書大坂の板にて加茂季鷹の序二様あるが如し”
- 17) “英訳本”
- 18) “午下凌霜子来り日新録と題する無石氏の日誌（弘化五戊申より安政六年まで）六冊を貸与せらる。蔵書印に中島文庫とあり。” “終日写本日新録をよむ筆者は遠山左衛門尉部下の与力が同心にて中島嘉右衛門といふ人なるべし。”
- 19) “1928年 1929年”
- 20) “南畝自筆本，第四卷欠”
- 21) “雑誌”
- 22) “与謝野晶子さんが、「やははだの熱き血潮にふれもみで」の一首に世を驚かした。”
- 23) “其人物のさして重要でないものに致るまで其面目は皆活けるが如く躍如としているのに驚かされた。”
- 24) “蒲田の如きも，今日より之を觀れば純然たる客観的作品となすには作者の態度において欠くところが少なくなかった。”
- 25) “非凡なる文章家にあらざる限り，客観的長篇の小説は作り得られるものではない。二葉亭鷗外二家の著作は能く之を証明している。”
- 26) 荷風は一見無造作な態度で，フランスのこの種の本を繙いているようであるが，戦後のフランスにおけるサドの復権をも予測していたものであろう。
- 27) “鷗外先生の蘭軒伝の他に……言文一致体の妙文を得たことを喜ばなければならない。”
- 28) “細雪閑説の興味は宛らダヌンチノの小説を読んで伊太利の風物を想ひ見るが如くである。”
- 29) 日本に長く滞在し，教育者でもあった詩人ノエル・ヌエットの目に映った東京を，荷風は愛した。
- 30) “細雪は余の見るところ其客観的なることは蓋しフローベルのボワリイ夫人，また感情教育の2大作に比するも遜色なきものであろう。”
- 31) 昭和25年1月発表
- 32) “佐藤春夫氏及び吉田精一氏の余に関する著書”
- 33) “一，三出奇談一珍可笑の夢 完，一，かちかち山後日譚（西の先水無月），一，十亭叢書 子 子の巻目録，草臥もふけ自物の妹狩 明治十九年，かちかち山後日譚 明治十八年，鏡裏の花 明治十九年，骨折り損 明治二十年，西遊雜咏 明治二十年，西遊日誌 明治二十年，稱好塾競漕會記 全 廿一年，左鎌倉記 全 附 鎌倉再遊記，一，日誌 明治廿年丁亥歳ヨリ廿六年癸巳に至る七冊，甲午目録一冊，明治三十三年当用日記一，明治三十六年当用日記一，明治四十二年当用日記一”
- 34) “駿河台紅梅町にあった東陽堂から明治20年頃から40年頃まで出ていた雑誌”
- 35) “昭和2年頃に吉原郭内の好事家が出していた雑誌”
- 36) “吉原の風俗や遊びを仔細に説明した書物”
- 37) “1949年（昭和24）12月，和敬書店刊”
- 38) “松平春嶽旧蔵の古書”
- 39) “森於菟氏その小説一夜また攀遅の夢所蔵の雑誌世界人二冊を贈らる。”
- 40) “紅葉先生の著作は…春陽堂から出ていた。高山樗牛の全集が…博文館から出ました。”
- 41) “明治43年”
- 42) “北光書房の小説世界と云ふ雑誌は今まで一度も僕の住宅へ訪問記者を差向けたことがないんだ。”

- 43) “ピエール、ロッチやモーパサンの作中に見るやうな死に対する神秘的な感情は今のところ僕の心持にはすこしも無い。”
- 44) “雑誌小説世界に春水原作梅暦の口語訳を余の名義にて掲載することにつきてなり。今回巖谷氏執筆の口語訳はもと十餘年前平井程一氏が余の名を借りて非凡閣書店より出版したるもの。”
- 45) “詩集”
- 46) “ヌエット先生新著”
- 47) “ヌエット氏新著”
- 48) “明治41年梓”
- 49) [これらについては、荷風がこれらの小説が原作となっている映画を見たと書かれている。]
- 50) “アンドレ、ジイドの自叙伝”
- 51) “ノエル、ヌエット氏より東京シルエットを贈らる”
- 52) “享和甲子板山本北山戯著、咲堂福聚一卷文刻堂玩月堂発兌。”
- 53) 特に歴史的建造物を中心に説明した克明な案内書であり、パリを背景に起った文学史上の事件、パリを背景にした作品に言及した名著である。この著に、『ふらんす物語』を重ね合せたことでもあろう。
- 54) “遺稿”
- 55) “アメリカの日本文学研究者”
- 56) ドナルド・キーンの「すみだ川」は日本近代文学にとって一時代を画した。まさに日本の風土の中からしか生まれない文学とみなされたのである。
- 57) “岩波版”
- 58) 昭和34年6月9日～同18日於、東京・伊勢丹「永井荷風展」目録に未発表原稿として掲載。
- 59) “戯曲”